

成人の旬 一手一つにひのきしん

日々の実践につなげよう

全教一斉ひのきしんデー



第645号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333

FAX (054) 628-4615

Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



富士支部に於ける教区長挨拶

皆さま、おはようございます。皆様方には日ごろから支部活動の上、お力添えを賜っておりますこと、この場をお借りいたし改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。ご苦勞様です。

今日は天気も心配しておりましたが、このような素晴らしいお日和を頂いて、また大勢の皆様方にお集まりいただきうれしく思わせて頂いております。

神様は「病むほどつらいことはない わしもこれからひのきしん」と聞かせてくださいます。ただ当たり前と思つていられると、それをなくしてから初めてその有難さに気付くというのではなく、当たり前のうちにその有難さに気付かせて頂いて、そしてその喜びをもって感謝の行いに表させていただく、これがひのきしんと教えていただきます。

思えば私たちはこの三年間、親神様から厳しいお仕込みを頂いた三年間でした。それがようやく明けようとしている、当たり前の日常へ向かつて今であるうと思つています。だからこそ今、このひのきしんの態度というものが、当たり前の有難さというもの、それを喜びに変えてのひのきしんの行い、決して忘れてはならない信仰の態度、実践であるなあと思わせていただきます。



今日はひのきしんデーの機会をお与え頂いております。お互い様、勇んでつとめさせていただきます。どうかお付き合い合ってくださいます。ありがとうございます。ありがとうございました。

東伊豆支部



教祖百四十年祭三年千日の活動が始まって、初の全教挙げての活動となる本年の「全教一斉ひのきしんデー」が、快い天候のご守護を頂いて勇んでつとめられた。

東伊豆支部では三か所を会場としてつとめられ、北より「熱海海浜公園」「伊東市オレンジビーチ」「伊豆つくし学園」において、ごみ拾いや学園内の草刈り草引きなどのひのきしんがつとめられた。毎回のことながら、参加者は大きな勇みの種を頂き、そこに居合

せた多くの人々に喜びを与えたことと思ひます。

最後に「つくし学園」では長澤支部長より、「教祖百四十年祭へ向けて、教祖ひながたに学ばせていただきつつ成人に励み、来る十月二十九日の『ようぼく一斉活動日』には、今日の参加者のもとより、周りの方々に声を掛け、一人でも多くの教友の参加をお願いしたい」との言葉で締めくくられた。

伊豆支部



伊豆支部内では三島栄町墓地、伊豆中央ケアセンター、戸田造船

郷土資料博物館、駿豆学園、西伊豆黄金崎海岸の五カ所で、それぞれ除草、海岸清掃などをおこなった。

駿豆支部



駿豆支部では千本浜海岸及び松林を会場に、全教一斉ひのきしんデーが開催された。穏やかな気候の中、午前十時に開始。海岸のゴミ拾いや松林の除草を行った。子供を連れ、た家族や、お年寄り、ようぼく議員など大勢の参加者がひのきしんに励んだ。また、毎年お願いしている献血車には、今年も大勢の協力者の列

ができていた。昼には恒例の焼きそばや、飲み物も配られ、午後一時終了した。参加者三百六十名

富士支部



四月二十九日の朝、ひのきしん現場の富士大淵公園に向かう車中から見える富士山は、その頂に綺麗な傘雲が掛かっています。その姿に「今日は雨だけ大丈夫、安心して心置きなく勤めて下さいよ」と親神様が教えて下さっているような気がしましたが、案の定、動くとき少し汗ばむくらいの適度な日

様のお照らし、そして、肌心地よいそよ吹く風と、絶好のひのきしん日和をお与えいただきました。

コロナ禍で久しくお見えいただけなかった教区長先生も、この日を待ち侘びたかのような笑顔でお運びください、開始にあたりご挨拶下さり（一面参照）、自らも教友の中に混じってひのきしん終了まで汗を流されました。コロナ下の厳しい制限も少し緩み、漸く一つ所に会すること適った教友約百二十名（子供を含む）は、二時間をかけて心楽しく、和気藹々と除草に励み、終了時には草の詰まったおおよそ六十袋のごみ袋の山が出来、草ぼうぼうだった公園は綺麗に装い改まり、ゴールデンウィークを迎える準備がすっかり整いました。

そしてこの日集った教友は、教祖百四十年祭に向けての、支部揃ったの第一回目の活動を通して、皆様にたくさん喜び心、勇み心をお土産に帰路に就き、年祭活動の尊い一歩を踏み出しました。

東駿支部



齋藤支部社友

近年は新型コロナウイルスの蔓延によりひのきしんデーを開催出来なかった年もありましたが、今年は今までの様にとはいきませんが、開会式、閉会式をつとめさせて頂き、又、晴天の御守護をいただき、勇んでつとめさせていただきました。二百十一名の

皆さん勇んでおつとめいただきありがとうございます。ございました。

中駿東支部



『全教一斉ひのきしんデー・城北公園』がつとめられました。素晴らしいお天気のご守護をいただき、大勢の教友と共につとめさせていただきます。ありがとうございました。参加者百七十八名

中駿西支部

四月二十九日、全教一斉ひのきしんデーが安倍川河川敷会場で実



施されました。心配された天候も活動中は晴天の御守護をいただき、参加者一同勇んで草取り等のひのきしんをさせていただきました。又、中駿東支部会場で行われている献血ひのきしんにも協力させていただきました。論達にも「日頃からひのきしんに励み」とお示しただきますように、それぞれがこの活動を日々の感謝の行いに繋げて下さることを期待します。

西駿支部

西駿支部では七か所の会場に分かれ、三百九名のように、信者

が勇んでひのきしんに
励んだ。イオン焼津店
では献血と献血の呼び
込みを行った。



中遠支部

一組では御前崎市浜
岡福祉会館で参加人数
四十名の参加者のもと、
草刈り機も使い広い範
囲の除草を行いました。
新任の事務長さんも挨
拶に来てくださり、大
変喜んでくださいまし
た。

変更の理由は理由は学
習センターは市から委
託された民間業者が運
営管理していることか
ら、より公共性の高い
施設に変更しました。
掛一小学校では除草作
業をPTAにお願いし
ていますが、草刈り機
を使える人が少ないの
で、今回大変喜ばれ、
終了時には教頭先生か
ら感謝の言葉を頂き、
参加者にペットボトル
のお茶を振舞って頂き
ました。夏休み明け前
にもう一度除草作業が
あるということなので、
八月十九日八時半より
もう一度除草ひのきし
んをさせて頂きます。



またエコパ会場でも十
名、天童浜名湖鉄道桜
木駅会場で十名、かけ
がわ苑会場では四名、
原谷地域生涯学習セン
ターでは九名以上の参
加者がありました。
三組（夏目歳継組長）
は、初夏の爽やかな風
が吹き抜ける久野城址
（袋井市鷲津）で除草
ひのきしんを行いました。
支部長の開講の挨拶
の後、久野城址保存
会会長山田宗男氏（愛
陽分教会長）が挨拶し、
「久野城址保存会は今
年第二回『日本城郭協
会大賞』を受賞。これ
は袋井の名所の景観整
備に年六回の除草作業
を行うなどの長年の取
り組みが評価されたも
のであるが、その一つ
に教友が毎年欠かさず
四月二十九日の全教一
斉ひのきしんデーにあ
わせて除草ひのきしん
を続けてくれたお陰で
もあります。」とお礼
を述べた。
参加者は七十七名
（大人六十六名、子供



西遠支部

暖かな日差しのもと、
浜北グリーンアリーナ
で、実施しました。受
付時に、全員にペット
ボトルのお茶、少年会
員には、お菓子が配ら
れました。ようぼく家
庭からの寄付で、洗濯
ピンチと、手袋も、参
加者に配られました。
支部長先生の挨拶の

北遠支部



十一名）
四組では森小学校で
午前九時から十一時三
十分ころまで草取りな
どのひのきしん二十数
名で行った。
五組と六組は地元の
お祭りとなり、駐車
場やひのきしん場所の
心配をしましたが、磐
田市見付つつじ公園で
九時三十分から十一時
三十分頃まで参加者五
十名のもと実施し、天
気も良く、気持ちのい
い汗を流しながら、順
調に予定通りひのきし
んをすることができま
した。

結構な天気のご守護
を頂戴し、「浜松市発
達医療センター・
友愛のさと」を会場に
二百十五名の参加のも
と、午前九時三十分よ
り十二時ころまで除草・
草刈・清掃などのひの
きしんが勇んで行われ
ました。会場の責任者
より感謝の言葉があり
ました。
また、稲荷山公園でも
午前九時より十一時こ
ろまで除草・草刈・ゴ
ミ拾いなどのひのきし
んが行われ、四十一名
の参加がありました。

後、斜面は草刈り機で、
駐車場の植え込みの
所は鎌で、二手に分か
れて、作業を開始しま
した。久々に会う人た
ちが笑顔いっぱい挨拶
を交わしあう姿、お
道は、これが最高のひ
のきしんだとおもいま
す。本年もひのきしん
が一堂に会してできる
喜びを味わいました、
二時間半の作業時間
はありましたが、参加
者全員が、笑顔で解散
いたしました。総員百
六十一名でした。
北遠支部 平野晴美



こどもおちばがえり 186少年ひのきしん隊本部練成会

第31回 サマースクール静岡 隊員募集

- 趣 旨 『サマースクール静岡』は、わかぎである中学生が「こどもおちばがえり」を通して、おちばでのひのきしんを中心に、教区内の同世代の仲間との合宿生活の中で、たすけあいを学び交流を深める静岡教区独自の練成会である。それは、「しこみ・ふせこみ・たのしみ」の3つの柱を軸に、少年ひのきしん隊の「人のため つくすよろこび ひろげよう」を合言葉に、明日の立派なようほくに育つ素地を作り、道の後継者として育成することを目的とする。
- 対 象 静岡教区内に在住、あるいは教区内教会から推薦される、健全な小学6年～中学3年生で、団体生活に支障のない者。
- 日 程 ●前半隊 7月27日(木)～7月31日(月) (4泊5日)
●後半隊 8月 3日(木)～8月 7日(月) (4泊5日)
- 宿 舎 旧かがみ寮 1号館 (天理市川原城町600)、宿舎電話は未定。
- 内 容 ひのきしん、しこみ行事参加、おやしき案内、教区行事、おたのしみ行事、他
ひのきしんは、第二食堂でのおたのしみ行事(日4回公演、内容未定)の誘導手伝い、及び、その周辺でのお茶接待等の予定。
- 募集人員 前半 40名 後半 40名
- 申込について **参加お供えなどの詳細は各教会へ配布した募集要項をご覧ください。**
申込希望は、各支部少年会育成委員長までお問い合わせ下さい。



四月三十日、日曜日、山名大教会にて、中遠支部母親講座として、不登校に関しての講習会を行わせて頂きました。講師には認定不登校支援相談員もおつとめになられる、名陽分教会長・中山信行先生をお招きし、不登校の実態について、聞かせて頂きました。



近年の社会現象の一つである不登校。その数はコロナ禍の影響を受け増加しています。対応は様々で、

「不登校の子に対してどうアプローチしていくか、周りどう関わっていくかが分かります。不登校は誰も悪くないことだと思いたくない。」や、「親子のコミュニケーションが重要なことと聞かせてもらい、少しでも悩みを抱える方のお手伝いができるよう、今回の学びを日頃から実践に移していきたい」と思いました。「といたったような感想を頂きました。また、「勉強になった。このような講習会があれば、次回も是非参加したい。」との声も多く挙がりました。

当日の受講者は三十名。その中には身内に不登校児を抱えていたり、また周りに不登校児を抱えて悩んでおられる親御さんとの関わりがあるという方もおられ、不登校について詳しく知りたい、という方が多く集まりました。講座はプロジェクトを使って進められ、図や表で視覚的にも分かりやすく解説して頂きました。また、実際に起こりがちな場面設定で、受講者が親と子の役になって声かけの

中遠支部母親講座
FR式不登校対応講座
—本人とその家族への支援の仕方—

仕方を学ぶ、という実践の一コマもありました。受講した方からは、「不登校の子に対してどうアプローチしていくか、周りどう関わっていくかが分かります。不登校は誰も悪くないことだと思いたくない。」や、「親子のコミュニケーションが重要なことと聞かせてもらい、少しでも悩みを抱える方のお手伝いができるよう、今回の学びを日頃から実践に移していきたい」と思いました。「といたったような感想を頂きました。また、「勉強になった。このような講習会があれば、次回も是非参加したい。」との声も多く挙がりました。